

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果をふまえた指導改善策

I 学力調査の結果【小学校・義務教育学校前期課程】

1 教科に関する調査結果（平均正答率）

	国語	算数
全国	67.2	62.5
広島県	69	64
府中市	71	63
自校	63	61

2 調査結果にみられる特徴（相当数の児童ができている点）

【国語】

- ◇目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。83.3%
- ◇目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。91.7%

【算数】

- ◇伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができる。91.7%
- ◇一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算ができる。83.3%

3 調査結果にみられる課題及びその課題に対する改善策

【国語】

課題	課題に対する改善策
◆図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。33.3%	条件に沿って文章を書く問題に取組ませる。（やまぐちっ子プリント等）週末の作文等でテーマ作文に取組ませる。
◆日常よく使われる敬語を理解し使い慣れる。41.7%	日常生活の中で適宜、敬語を使えるように指導を行う。総合的な学習の時間などで、地域の方への手紙を書いたり、依頼文を書いたりする際、敬語が正しく使えているか、児童自身で確認できるように、敬語の一覧表を作成し、配付する。

【算数】

課題	課題に対する改善策
◆切って開いた三角形を正三角形にするために、テープをきるときの角の大きさを書く。(正三角形の角の1つの角が60度であることは理解できているが、三角形を切って開いた角の大きさを考えることに課題がある。) 8.3%	図形の学習では、図形を実際に操作しながら、角の大きさについて調べるなど、具体物を用いた算数的活動を各学年で発達段階に応じて行っていく。
◆高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する。25.0%	図形の学習では、既習の図形の特徴と定義を復習する。(授業の導入で本時と関連する既習の図形の特徴や定義などをミニテストするなど。)

4 学習状況調査（児童質問紙）の結果にみられる傾向

肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも高かった項目
(自校 100%、全国 89.8%)
・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

5 生活習慣・学習環境などに関する改善のポイント

肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも低かった項目	改善のポイント
(自校 41.9%、全国 71.8%) ・読書は好きですか。	学校で各学年の必読本を設定しており、必読本を読む取組みをすることで、読書の楽しさを味わわせる。また、友達とおすすめの本を紹介し合う活動等を行い、読後感を交流する楽しさも味わわせる。
(自校 41.7%、全国 72.5%) ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか。	2学期からは、ALTが週3日学校にいるので、ALTとの関わりを増やし、異文化について知る楽しさを味わわせたり、外国語活動や外国語の学習では、外国の文化について調べたことを交流したりする学習を取り入れたりする。